

事務事業マネージメントシート

作成日 平成30年 05月 11日

事務事業名	優良種豚導入支援事業				担当	産業部 農政課 園芸畜産係									
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり				増補版施策名									
施策名	1	農業の振興				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業									
関連個別計画						事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ								
法令根拠	真岡市補助金等交付規則						<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 昭和50年度～)								
予算科目	1.一般会計	6.農林水産業費	1.農業費	5.畜産業費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)										
事業概要	優良種豚の導入は、繁殖能力の向上と肉質改良を図るため、3年間の導入計画に基づき3年に1度実施している。補助は、導入した養豚組合員に対し、導入費の1/4以内（上限雄豚37,500円、雌豚20,000円）を補助している。導入は、平成18年度、平成21年度、平成24年度、平成27年度に実施した。次回は、平成30年度実施予定である。														

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段 (主な活動) 29年度実績 ・該当年度ではない(次回は平成30年度予定)	⑤活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) の推移						
	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
30年度計画 ・平成27年度と同じ	ア：補助金額	千円	0	1,415	0	0	1,810
	イ：						
②対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 ・養豚農家数	ウ：						
	エ：						
③意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか) ・計画的な優良種豚の導入促進	オ：						
	⑥対象指標 (対象の大きさを表す指標) の推移	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)
④結果 (どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) ・畜産物の効率的生産の促進	ア：養豚農家数	戸	12	12	12	12	10
	イ：						
⑦成果指標 (対象における意図された対象の程度) の推移	ウ：						
	エ：						
⑧上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) の推移	オ：						
	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
⑨総事業費の推移	ア：導入頭数	頭	0	7	0	0	7
	イ：	%	0	58	0	0	68
⑩人件費の推移	ウ：						
	エ：						
⑪設備投資の推移	オ：						
	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)

事業費		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支払金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	1,415	0	0	1,810
	事業費計(A)	千円	0	1,415	0	0	0	1,810
	人件費	正規職員従事人數	人	0	1	0	0	1
		延べ業務時間	時間	0	10	0	0	10
		人件費計(B)	千円	0	42	0	0	42
	トータルコスト(A)+(B)		千円	0	1,457	0	0	1,852

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	計画的に体型資質及び能力の高い原種豚を導入し、繁殖能力の向上と肉質改良を行い、養豚経営の安定を図るため開始した。
①この事務事業を開始したきっかけは何か? いつごろどんな経緯で開始されたのか?	畜産経営は、肥料及び配合飼料の価格高騰等により厳しさを増している。
②事務事業を取り巻く状況 (対象者や根拠法令等) はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 計画的な優良種豚の導入促進は、肉質改良と繁殖能力の向上が図られ、畜産物の効率的な生産につながり、市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 優良種豚の導入補助は、畜産物の効率的生産を促進し、経営安定を図っているので公共関与は妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 全ての養豚農家を対象に優良種豚の導入を支援することは、畜産物の効率的生産につながり、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 補助を希望する全ての農家に実施できており、畜産物の効率的生産が図られているので、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 優良種豚導入支援事業を廃止することは、畜産物の効率的生産の促進、経営安定に支障をきたすので廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の補助であり、削減余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の人件費であり、削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 一部補助で養豚農家も応分の負担をしており、公正公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 繼続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"><thead><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr></thead><tbody><tr><th>成果</th><td>向上</td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>		コスト			削減	維持	増加	成果	向上			維持				低下			
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
維持																				
低下																				
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																				

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客觀性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客觀性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客觀的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"><thead><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr></thead><tbody><tr><th>成果</th><td>向上</td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>		コスト			削減	維持	増加	成果	向上			維持				低下			
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
維持																				
低下																				
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）																				
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																				